

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2024年12月2日時点)

➤ **ウクライナ軍が露西部クルスク州における作戦及び露領内への無人機攻撃を継続する一方、露軍は、ウクライナ東部への攻勢及びウクライナ全土に対するミサイル・無人機攻撃を継続しつつ、クルスクへの攻勢を強化する模様**

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

- 露軍: 死者約18万人(ゼレンスキー大統領24年2月25日)
: 死者約20万人、負傷者約40万人(WSJ24年9月17日)
: 死傷者64.8万人以上(英国防省24年10月7日)
- 「ウ」軍: 死者3.1万人(ゼレンスキー大統領24年2月25日)
: 死者約8万人、負傷者約40万人(WSJ24年9月17日)
- 「ウ」市民: 死者10,582人以上、負傷者1万9,875人以上(UN24年2月22日)

- 英メディアは、「ウ」参謀本部関係者によれば、「ウ」は、露クルスク州において、**最大1,376km²**を掌握も、現在は**約800km²**に縮小したとし、露は現在、同州に**5.9万人**の兵士を派遣していると報道(11月24日)
- ゼレンスキー大統領は、前線の最も困難な地域は依然として**クラホヴェ**方面であるが、**ザポリヅジャ**方面にも注意を要する脅威がある旨言及(11月25日)
- 「ウ」軍作戦・戦略編組部隊「ホルティツァ」報道官は、**ハルキウ州クピャンスク市**から露軍を撃退したと発表。また、露兵士及び装備が渡河しようとしても、「ウ」軍のFPVDローンや火力手段によって撃滅されると発言(11月26日)
- 露国防省は、22日にドネツク州**ノヴォドミトリウカ村**、26日にハルキウ州**コパンキ村**、27日にドネツク州**ノヴァ・イリカ村**を解放したと発表

- 露国防省は、21日に英巡航ミサイル「**ストームシャドウ**」×2発を撃墜したほか、22日に米製対地ミサイル「**ATACMS**」×5発、「**ストームシャドウ**」×2発を撃墜したと発表(10月21日、22日)
- 「ウ」メディアは、「ウ」が初めて、クラスター弾を搭載した「**ATACMS**」で、**クルスク州の軍用飛行場**を攻撃したと報道。(11月25日)
- 露国防省は、「ウ」軍が23日、露**クルスク州のS-400防空ミサイル師団**の所在する地点に「**ATACMS**」×5発で攻撃し、**レーダー**に被害が発生したほか、25日に、**同州ハリノ飛行場**に「**ATACMS**」×8発で攻撃を受け**インフラ設備**が損傷と発表(11月26日)
- 「ウ」メディア等は、露軍が、「ウ」西部の**エネルギー関連施設**12か所を標的に、**無人機及びミサイルによる大規模攻撃**を実施し、「ウ」全土の複数地域が停電と発表(11月28日)

- 主要都市(下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点(接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- ☀ 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- ☀ ウクライナ軍が占領した地域

- 「ウ」情報総局副局長は、露が**陸上戦力**として、**クルスク州を含め戦闘に約58万人**を投入しているほか、露占領下にある「ウ」領土に露国家親衛隊3.5万人が所在すると発言(11月22日)
- 米国防省副報道官は、「ウ」に**北朝鮮兵士がいる兆候はない**と言及(11月25日)
- 米国防省報道官は、**1.2万人以上の北朝鮮兵士**が露に配備と発言(11月26日)
- 米国連次席大使は、北朝鮮が露に、**コンテナ18,000個以上の弾薬**及び関連原料、**100発以上の弾道ミサイル**を移転したとするほか、多数の**北朝鮮製170mm長射程自走砲**や**240mm長射程多連装砲**が戦闘に導入されつつある旨言及(11月27日)

